

令和2年(ワ)第6225号、第31962号、令和3年(ワ)第30042号  
令和4年(ワ)第32493号 六ヶ所再処理工場運転差止請求事件

# 六ヶ所撓曲の見落とし

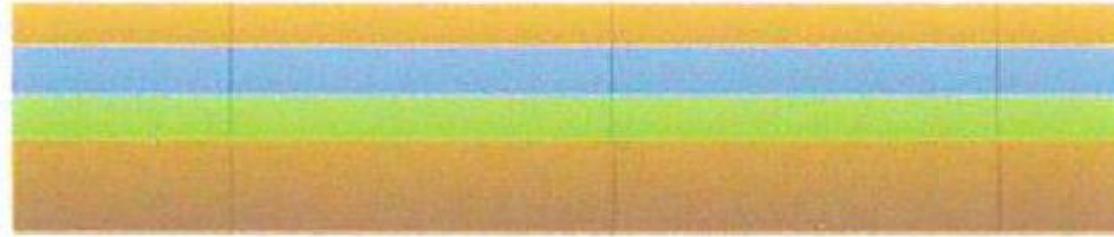
(準備書面29)

2026年2月19日

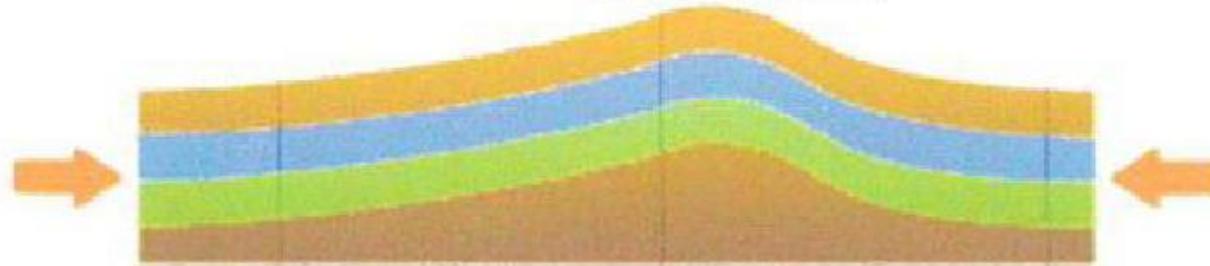
六ヶ所村再処理工場運転差止訴訟弁護団  
原告ら訴訟代理人 弁護士 北村賢二郎

# 「撓曲」(とうきょく)とは

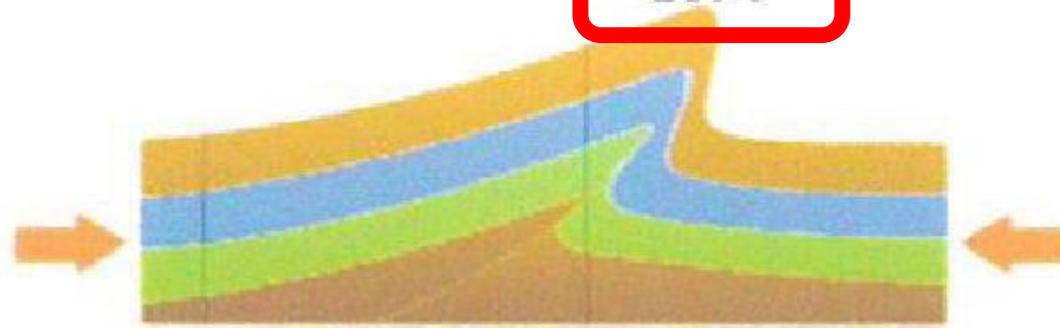
水平層



褶曲 (背斜)



撓曲



逆断層

# 本準備書面のポイント



産総研

『20万分の1地質図幅「野辺地」』



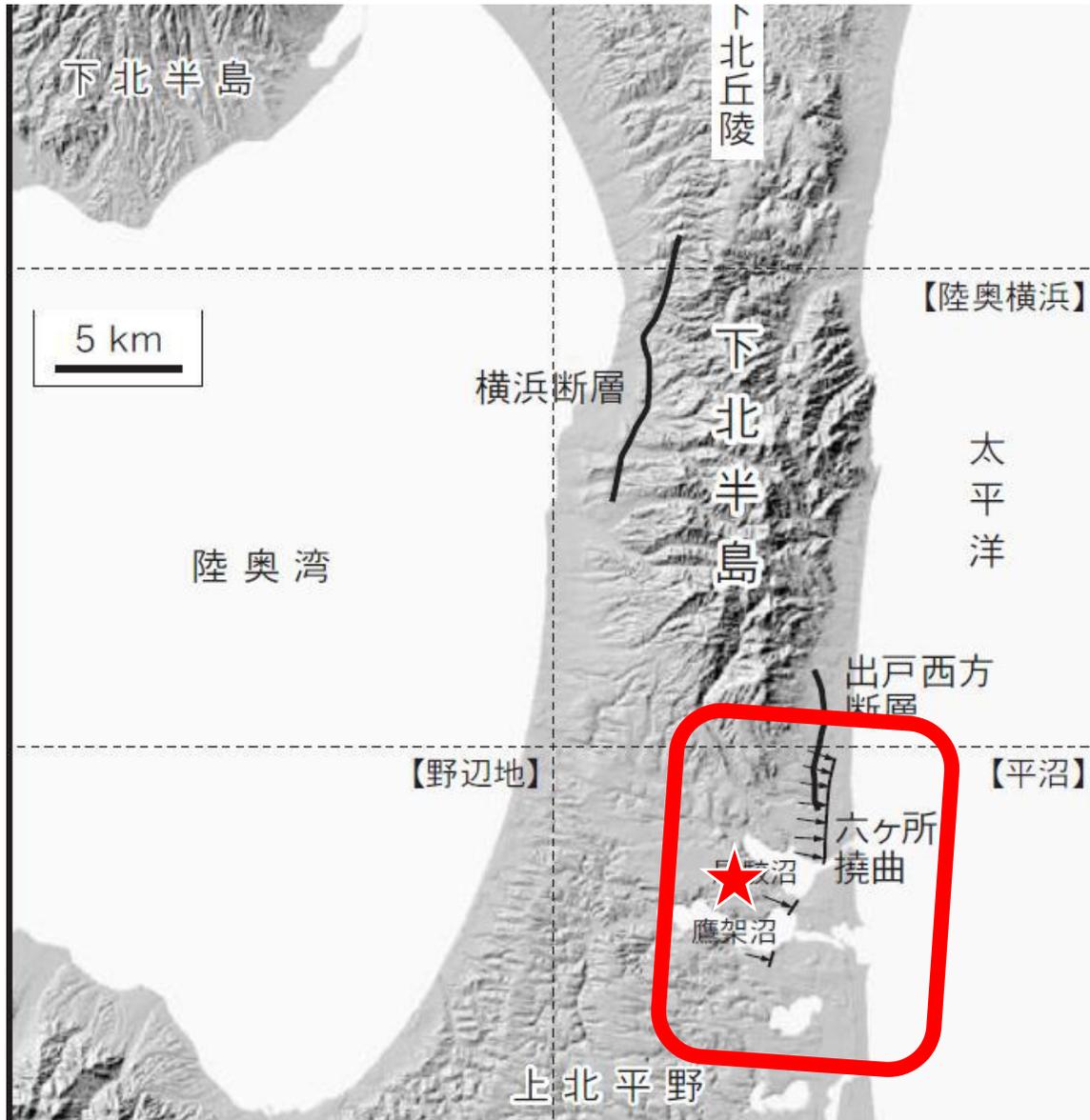
将来活動する可能性のある「活構造」

**六ヶ所撓曲**を明示



これを看過した原子力規制委員会の審査  
過程には**看過し難い過誤・欠落**が  
ある。

# 本準備書面のポイント



産総研

『20万分の1地質図幅「野辺地」』

将来活動する可能性のある「活構造」

**六ヶ所撓曲**を明示

これを看過した原子力規制委員会の審査  
過程には**看過し難い過誤・欠落**がある。

# 産総研（地質調査総合センター）とは

The screenshot shows the official website of the Geological Survey of Japan (GSJ). At the top left is the GSJ logo with the text '産総研 Geological Survey of Japan 地質調査総合センター'. To the right are navigation links for 'お問い合わせ', '採用情報', 'サイトマップ', 'アクセス', and 'English'. Below this is a search bar with 'Google 提供'. A main navigation bar contains 'トップページ', 'GSJ紹介', '研究紹介', '出版物とサービス', '災害と緊急調査', and '地質を学ぶ、地球を知る'. The main content area is titled 'GSJ 紹介' and features a large image of the AIST Tsukuba Central 7 building. Below the image is a paragraph of introductory text. To the left is a vertical sidebar menu with links to various sections. Below the main text are several boxes providing more details about the center's mission, organization, and activities.

GSJ 紹介

GSJ(地質調査総合センター)は、138年にわたって地質にかかわる研究をしている産総研の組織です。

GSJは、国として行なうべき「地質の調査」を実施するための組織で、産総研の地質に関連するユニットから構成されています。明治15年(1882年)に前身の地質調査所が創立されて以来、地質にかかわる研究を行い、社会に貢献しています。

- 地質調査総合センター長挨拶
- ミッション
- 組織
- 業務概要
- 国内連携活動
- 国際連携活動
- 標準化活動
- 沿革
- 採用情報
- アクセス
- リンク集

地質調査総合センター長挨拶

産総研地質調査総合センター長からみなさまへご挨拶申し上げます。

ミッション

産総研地質調査総合センターの第5期中期目標、研究戦略など。

組織

産総研地質調査総合センターは、産業技術総合研究所に属する3研究部門・再生可能エネルギー研究センター（地熱チーム・地中熱チーム）・地質情報基盤センターによって、国土基盤情報の整備を行っています。

業務概要

産総研地質調査総合センターでは、さまざまな業務（研究・技術開発・アウトリーチ活動など）が行われています。代表的な業務の概要を簡単に紹介します。

国内連携活動

- 産学官連携活動

国際連携活動

- 国際機関との連携

**140年以上の歴史を持つ  
国立研究開発機関。**

**地質調査のナショナルセンターであり、  
その成果（地質図幅）は日本の  
地質学の「スタンダード」**

**原子力施設の広域調査（30km  
圏）においても、  
基礎資料として必須とされる**

# 地質図幅「野辺地」第2版の重要性



2021年3月31日発行  
57年ぶりの全面改訂

最新の研究報告、複数の原子力関連施設などの膨大な地質データ、現地調査の結果など**新たな知見が蓄積**

これらを科学的・学術的信頼性によってデータ等の採否を決定したうえでの地質調査総合センターによる

**厳格な判断結果**

# 六ヶ所撓曲（六ヶ所断層）の明示



太平洋側に「六ヶ所撓曲」を赤紫の点線

「本地域において中期更新世以降に活動した**活構造**としては、…**六ヶ所撓曲**、…が認められる。…**逆断層により生じた撓曲**とされている。撓曲については…伏在部を描いた。」

出戸西方断層の南端を超え、鷹架沼の南側まで連続する**巨大な活撓曲**

# 六ヶ所撓曲（六ヶ所断層）の明示

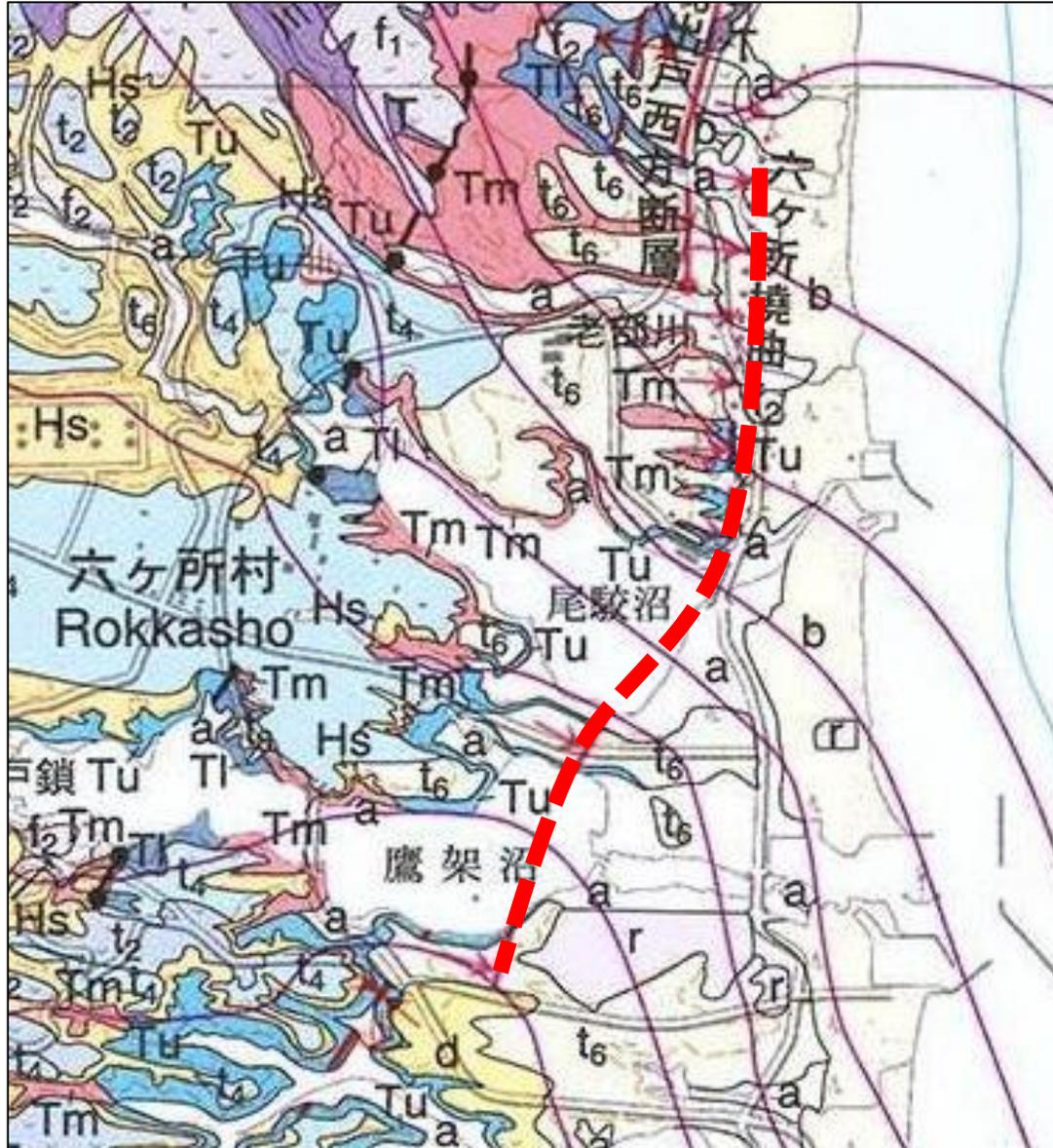


中期更新世（約12.5万年前）以降に活動した「**活構造**」と認定

最大変位量**30m**以上

出戸西方断層は、六ヶ所撓曲の中に形成された**副次的な活断層**

# 日本原燃と産総研の評価の乖離



## 日本原燃

出戸西方断層（約11km）を主たる評価対象



## 産総研

六ヶ所撓曲を広域な活構造とし、出戸西方断層は副次的に過ぎないと評価

# 日本原燃と産総研の評価の乖離

判断過程の看過し難い過誤・欠陥

出戸西方断層（約11km）を主たる評価対象

公的機関が認めた「六ヶ所撓曲」を見落とし

基準地震動Ssの審査過程に看過しがたい過誤・欠落  
産総研

六ヶ所撓曲を広域な活構造とし、  
出戸西方断層は副次的に過ぎないと評価



以上